

成績通知書の見方について

卒業要件に必要な単位数は以下の表の通りです。履修単位数の上限制度により、原則半期に 24 単位の履修しかできず、4年生では就職活動が必要となりますため、以下の単位修得を目指してください。

- ・半期 20 単位以上
- ・3 年終了時点で 120 単位以上

成績通知書は、大きく三つの部分に分かれています。

- ・最上部 学生本人の氏名、学籍番号、所属学部・学科、入学年月日、保護者の住所・氏名、ほか
- ・中央部 これまでに履修した科目の名称、所定単位数、履修年度及び開講時期、評点と評価
(授業科目を履修し、その試験などに合格した場合に、所定の単位数が付与されます。)

判定	合格				不合格
評価	S	A	B	C	F
G P	4.0	3.0	2.0	1.0	0
素点	100 点～90 点	89 点～80 点	79 点～70 点	69 点～60 点	59 点以下

※ 素点を付さない授業科目については、合格を P (素点:666)、不合格を F (素点:999) と表示しています。また素点 555 は出席不足での不合格 (F) となります。

- ・最下段 授業を受け、合格することにより修得した単位数を、科目区分ごとに集計した表
(授業科目の区分ごとに、卒業に必要な単位数が定められています。)

(大 区 分)	(小 区 分)	必要単位数
人間形成科目 (必要単位数：44)	総合教育科目	14
	外国語科目	16
	情報処理科目	4
	キャリアデザイン科目	2
	総合演習科目	8
専 門 科 目 (必要単位数：66)	学部基礎科目	28
	学部展開科目	16
	学部共通科目	14
	演 習 科 目	8
他学部専門科目、単位互換科目等		8
その他全ての科目		10
合計 (卒業に必要な単位数)		128

「修得済単位数」欄には、実際に修得した単位数が科目区分ごとに表示されています。

一方、「判定用単位数」欄では、卒業に最低限必要な単位数が科目区分ごとに表示されています。この欄では、科目区分ごとの修得単位数が、卒業に最低限必要な単位数を超える場合には、超過した部分を他の科目欄に振り替えています。人間形成科目の超過分については「他学部専門科目、単位互換科目等」に、更に全科目の超過分については、「その他全ての科目」に振り替えられます。

○進級要件について (以下についても十分確認してください)

本学において、2年次から3年次に進級するには、次の要件を満たさなければなりません。

- ・総修得単位数が44単位以上であること。
- ・人間形成科目の修得単位数が22単位以上であること。
- ・経営学部においては、学部基礎科目のうち14単位以上を修得していること。

※ 進級要件を満たさない場合は、3年次に進むことができません。

※ 進級要件を満たさず3年次に進級できない場合、1年次と2年次を通算し4年を超えての在学はできません。

【成績通知書】における卒業要件の確認方法（経営学部）

【単位数集計欄】	人間形成(a)	(内訳)					専門(b)	(内訳)				他学部専門/単位互換等(c)	その他全科目(d)	総計 (a)+(b)+(c) +(d)
		総合教育	外国語	情報処理	キャリアデザイン	総合演習		学部基礎	学部展開	学部共通	演習			
卒業必要単位数	44 単位	14 単位	16 単位	4 単位	2 単位	8 単位	66 単位	28 単位	16 単位	14 単位	8 単位	8 単位	10 単位	128
修得済単位数														
認定済単位数														
余剰振替元単位数														
判定用振替単位数														
判定用単位数														
不足単位数														

- 卒業必要単位数：** 卒業に必要な単位数。カテゴリ毎に必要な単位数が決まっているので、要件に定められている単位数以上を修得してください。
- 修得済単位数：** 修得した単位数。
- 認定済単位数：** 修得した単位数のうち、卒業要件に必要な単位数（必要最低限の単位数が認定済単位として利用されます）。
- 余剰振替元単位数：** 修得した単位数のうち、卒業要件に必要な単位数を超えて、且つ「他学部専門／単位互換等」「その他全科目」に振替えることができる単位数（判定に利用されたかどうかは「判定用振替単位数」を確認）。
- 判定用振替単位数：** 修得済単位数のうち、“他学部専門等”及び“単位互換等”に振り替えて利用できる単位数。
※ 振替元は「余剰振替元単位数」を確認すること。
- 判定用単位数：** 卒業判定に利用される単位数。「認定済単位数」「判定用振替単位数」が利用される。
- 不足単位数：** 卒業要件に対し、不足している単位数。この部分が各カテゴリにおいて0単位になる必要がある。

<修得注意カテゴリ>

他学部専門/単位互換等(c)：

人間形成科目において卒業要件に必要な単位数を超えて修得した単位が振り替えて利用される。また他学部専門科目の修得（他学部履修）、または別途設定される他大学との連携科目、放送大学科目等の単位互換科目の修得でも良い。

その他(d)：

人間形成科目、および自学部他学部問わず、全ての専門科目で卒業要件を超えて修得した単位が振り替わる。

また「他学部専門/単位互換等(c)」で必要な単位数を超えて修得した単位が振り替わる。

※ “その他(d)”においては、自学部の専門科目を多く修得することが望ましい。